



社会とつながる 学校

玉村町立玉村中学校  
令和5年度2023年6月29日No.02

「自分で考える力」を育てる ~笑顔があふれる学校・社会とつながる学校・心穏やかな学校・主体的な学校~



■ 玉村中学校の今年の「薬物乱用防止教室」は ■

# 「依存症」を断つ

講師：NPO法人 **群馬DARC** (ぐんまダルク)

日時：令和5年6月29日(木) 5・6時間目

対象：玉村中学校1・2・3年生 440人

DARCは、薬物・アルコール依存症、これに類する問題で困っている人たちが回復するための支援施設です。1985年に日本初である薬物依存症の民間リハビリセンターDARCが設立され、現在は全国約80カ所以上のDARCが運営されています。

群馬DARCは2006年6月に群馬県高崎市日高町に開設されました。



## <生徒の感想>

- 今までは教科書や映像を見るだけの授業ばかりでしたが、実際に薬物を使ってしまった人の話はそれらと違って、とても生々しく言葉の重みがとてもありました。
- 薬物だけでなく、ゲームやスマホなど私たちの身近にあるものも「依存症」のきっかけになるということを重く受け止めて、自分でルールを決めて慎重に使おうと思いました。
- 依存症の恐ろしさを感じました。自分はメティアの依存症だと思います。少し後悔しています。でも、まだ重傷ではないので、少しずつメティアから離れて、依存症を避けていきたいと思いました。
- 止めたくても止められない、使わないと身体が動かないという体験談から、ダルクの人の苦しさが伝わってきました。薬物には一生かかわらない生活をしていこうと心から思いました。「断る」「離れる」。自分にできる対策をしっかりして、依存症にならないようにします。